

日本ヒューマンケア・ネットワーク学会

第20回学術集会

テーマ：「地域共生社会における多職種連携」

2020年12月13日（日）10:00～17:00（予定）

東京保健医療専門職大学6階611大教室 東京都江東区塩浜2丁目22-10

大会長：熊本圭吾 長野保健医療大学 教授

副大会長：菊地 みほ 東京保健医療専門職大学 准教授

10:00～10:30 開会の挨拶、大会長講演

大会長 熊本 圭吾

10:30～11:30 一般演題①

座長：

1. 85歳以上の入院患者における自宅退院に関する要因と
活動・参加に対する取り組み 米澤美園
2. 回復期リハビリテーション病棟入院中の後期高齢運動器疾患患者の
ADLに対する認知機能の影響 武井圭一

座長：

3. レクリエーション型言語リハビリにおけるロボット活用方法の検討 山本哲
4. ロボットを活用したレクリエーション型言語リハビリシステムの開発 板井志郎
5. シナリオ型と非シナリオ型のロボットレクリエーションの比較 浜田利満

11:40～12:40 特別講演

「地域共生社会における医療介護連携～地域リハビリテーションの実践～」

日本リハビリテーション病院・施設協会会長、医療法人真正会 霞ヶ関南病院理事長

斉藤 正身 先生

座長：熊本 圭吾 大会長

12:50～13:10 製品紹介 大正製薬

*数に限りはございますが、お弁当をご用意いたします。

13:20～13:40 総会

座長：陶山哲夫理事長

13:50～14:50 一般演題②

座長

6. COVID-19 患者へのリハビリテーション提供に向けて 國友淳子
7. コロナ禍での訪問リハビリ -病院クラスターからこれまでを振り返って- 加藤範子
8. コロナ禍における本学学生への加速度計を用いた身体活動量調査 重國宏次

座長:

9. 起業している理学療法士の実態-起業に至る経緯の事例報告- 有本邦弘
10. 圧センサーを活用した指圧技能習得のための学習支援システムの構築
-音声によるフィードバック機能の検討- 小貫睦巳

15:00～16:40 シンポジウム

「多職種連携の実際～地域ケア会議から多職種連携教育まで～」

座長: 熊本 圭吾 大会長、菊地 みほ 副大会長

- 1) 「地域自立支援協議会における多職種連携」

東京保健医療専門職大学 准教授、江東区地域自立支援協議会会長 里村 恵子 先生

- 2) 「地域支え合いの仕組みづくりの実践と課題について」

社会福祉法人 愛の泉 特別養護老人ホーム 愛泉苑 副施設長 秋山 毅行 先生

- 3) 「多職種・他機関の連携と協働の実際について」

伊那市社会福祉協議会 地域福祉課 生活相談係長 伊藤 直哉 先生

- 4) 「学部および実践者における多職種連携教育の実践」

埼玉県立大学 理学療法学科 教授 田口 孝行 先生

17:00 閉会の挨拶

次期大会長 鈴木 活水 理事

【参加費】 今回は無料です 事前申し込みは必要ありません

【お問い合わせ先】 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会事務局 事務局長 山本 満
事務局 國友 淳子(学術集会担当) 伊藤 智彰(総務担当) 森本 貴之(研究会誌担当)
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション部内
TEL & FAX 049-228-3529 E-mail : rehanet@saitama-med.ac.jp

主催: 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会